

ファシリテーターとの検討会実施要領

1. 検討会の位置づけ

住民対話討論会について、一層効果の大きなものにしていくために、住民対話討論会進行に関わる中心的な存在であるファシリテーターの方々の実践に基づく意見をご提供頂き、委員会委員との意見交換により、今後の進め方に関する方向性を見いだしていく。

2. 参加者

討議席：住民対話討論会ファシリテーター、淀川水系流域委員会委員
河川管理者席、一般傍聴者席

3. 日時・場所

日時：平成16年5月15日（土） 10:00～13:00
場所：京都市リサーチパーク 西地区 バズホール

4. 検討会次第(予定)

- ・ 開会
- ・ 住民対話討論会に関わる経過説明
- ・ 議 事
 - ①本検討会の位置づけに関わる説明
 - ②住民対話討論会に関わる河川管理者からの説明
 - ③ファシリテーターからの報告1（ダム関係：12分×4人）
 - ④ファシリテーターからの報告に基づく委員との意見交換1
休憩（15分）
 - ⑤ファシリテーターからの報告2（河川敷関係：12分×4人）
 - ⑥ファシリテーターからの報告に基づく委員との意見交換2
 - ⑦報告および意見交換に基づく傍聴席からの意見聴取
- ・ 閉会

5. ファシリテーターの方からの話題提供(予定)

- ①ファシリテーターとしての役割について
- ②住民対話討論会の運営に関わる手法について
- ③これまでの住民対話討論会に関わる評価（効果や問題点等）
- ④住民対話討論会を進めるにあたっての今後の課題

6. 検討会の結果に係る情報公開等

2月28日に開催した意見交換会に準じた対応を行う。